

## ■北海道の農業と超高速ブロードバンド環境の現状

### 北海道農業の現状

- 耕地面積は**全国の約1/4**
- 1農業経営体あたりの経営耕地面積は28.2ha  
(**他県の13.4倍**)
- 多くの農畜産物(小麦、じゃがいも、たまねぎ、大豆、生乳等)は**全国1位**の生産量
- H27の食料自給率は**221%**(概算値)  
我が国の食料の安定供給に重要な役割を發揮
- 主業農家の割合は**75%**  
(**他県の3.6倍**)
- 農家戸数、農家人口は年々減少(但し、耕地面積は横ばい)  
農家戸数: 62,611(H12) → 37,200(H28) (**41%減**)  
農家人口: 261,160(H12) → 140,800(H28) (**46%減**)
- 農外企業の農業参入は年々増加  
119経営体(H22) → 196経営体(H28) (**65%増**)
- 65歳未満の農家の比率は**61.4%**  
(**他県の1.9倍**)

### 農家の要望と課題

#### ◆ 労働力の不足 → **農作業の省力化が必要**

##### 農業のICT化/IoT化が不可欠

既に、トラクターに搭載する自動操舵装置の出荷台数は2,840台(全国の**約94%**)。

GPS以外の測位衛星にも対応したRTK-GNSSのための自営系無線システムの高度化等が求められている←今年度、調査研究会開催中

#### ◆ 農畜産物の販路拡大等 → **各種映像情報を扱えるネット環境が必要**

##### 超高速ブロードバンド環境が不可欠

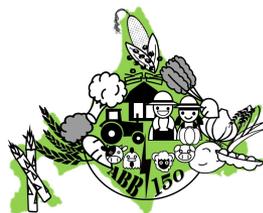
超高速ブロードバンド整備状況(携帯電話LTEを除く)  
道内全体の世帯整備率: 97.7%

- 一方で、
- ★農業集落整備率: **46.0%**
  - ★農業集落にある世帯整備率: **72.8%**
  - ★農地面積整備率: **55.9%**

### 農業ブロードバンド整備

## 農業ブロードバンドの整備を推進「ABB150」

- ◆ 労働力の不足等の課題を解決し、農業生産性の向上によって「**強い北海道農業の実現**」を図るために「**農業ブロードバンド**」(超高速ブロードバンド、各種無線通信システム)の整備を推進



「ABB150」ロゴマーク 北海道150年ロゴマーク

- ◆ 本取組については、地域に親しみを持ってもらいながら推進するため、人気アイドルグループの名前に似せるとともに、本年が北海道命名150年目に当たることを踏まえて、「**ABB (Agriculture BroadBand) 150**」と称することとし、職員がロゴマークを作成した。